

### Ⅲ 学校法人明治大学長期ビジョン

#### 1 長期ビジョン – 10年後の明治大学

## 世界へー国際人の育成と交流のための拠点

### 世界で活躍する強く輝く「個」を育てる教育研究の実現

建学の精神にのっとり、130年の歴史と伝統に基づく明治大学にふさわしい、文化の発展と人類の福祉に貢献する有為な人材の養成に努めます。

特に世界で活躍する人材を育てる教育研究環境を整備するとともに、大学の改革を実行します。

#### 2 ビジョンの実現に向けたテーマー将来に向けた方向性を支持する理念

##### (1) 「個」を強め、社会と世界をリードする人材育成の拠点

学生・生徒・父母・校友・教職員すべて（以下「オール明治」という。）が「個」を強くすることができる学内の環境を整備するとともに、責任感、情熱、知識、知恵、技術等を兼ね備えた強く輝く「個」を持った人材を育成するシステムを構築します。

教育面では、世界に羽ばたき、社会と世界をリードする人材教育の実現を目指します。

また、教員・職員についても、明治大学が掲げるビジョンの実現に適う人事制度（任用・育成・評価方針）の構築を検討します。

人材育成（学生への教育、教職員の任用・育成・評価方針）に明確な目標を設定し、それを共有することで、大学の「質」の保証に資することになります。

##### (2) 知の創造と開かれた学問の拠点

世界水準の研究を推進し、新しい知の創造を目指します。

大学における研究の独自性及び自発性を尊重し、教員の自主的な活動を基本としつつ、大学の将来を見据え、重点領域を定めた研究拠点の育成、研究の国際化、研究成果の社会還元に取り組みます。今後は、研究成果の社会還元という大学の使命を踏まえ、「知的創造サイクル」を構築して、より一層の学外研究資金の獲得を目指します。

また、これらの成果を地域社会のみならず、世界に向けて発信し、世界的な水準で評価される大学・研究拠点となることを目指します。

### (3) 世界を結ぶヒューマンネットワークの拠点

オール明治が明治大学の貴重な財産であるとの認識に基づき、一体感の醸成に努めます。

オール明治が明治大学を拠点とした世界的なヒューマンネットワークを構築することで、研究成果の世界への発信及び社会還元並びに校友と協同した人材育成に結び付けます。このような視点からのヒューマンネットワークの構築は、大学の社会貢献にも繋がります。

また、オール明治としての一体感を高揚させるための有効な方策として、スポーツ・文化の振興にも取り組みます。

### (4) 学術・文化を世界に発信する拠点

都心型大学としての利便性を十分に生かし、世界中の多様な人々が集い、語らうことのできるキャンパスを目指します。世界に開かれ、学術・文化を世界に発信し、地域社会とも連携・共生したキャンパスは、オール明治にとっての誇りであり、地域のシンボルとなります。

明治大学の本拠地であり都心のランドマークでもある駿河台キャンパスをはじめ、明治大学の各キャンパスは、それぞれに特色あるキャンパスとして独自の役割を担っています。また、附属高等学校・中学校も含めた高度なネットワーク環境を背景としたキャンパス間の有機的な連携によって、明治大学の教育研究全般の発展のみならず、広く社会貢献・国際貢献についても推進していきます。

明治大学は、今後も地球市民の一員として、社会貢献に寄与し、世界で活躍できる強く輝く「個」を育てるための教育研究環境の実現に向けて取り組むとともに、学術・文化を世界に発信する拠点としてふさわしい環境を整備していきます。

### (5) 将来に向けた持続的な発展

上記の各拠点を構築していくためには、明治大学が将来に向けて持続的に発展していくことが前提となります。明治大学の持続的な発展に向けて、学生数等について明治大学としての適正な規模を設定し、教育・研究・経営に関して、建学の精神（ミッション）の実現とともに、社会からの負託に応えられるよう質の向上に努めます。

また、時代や環境の変化に的確に対応し、新たな変化を創造するために、法人・教学それぞれのガバナンスについて法人教学共通の認識を持ち、組織体制・意思決定のシステムを整備します。